

農業活動での汗を感動へ ～実習による成就感と達成感～

■園児との交流 命の育み（システム園芸科）

3年システム園芸科「生物活用」の授業で、毎年、玉川保育園の園児の皆さんと農業を通した交流活動を行っています。今年も5月10日、たっぷりの日差しの中で楽しく実施されました。サツマイモの苗の定植、ヒマワリ、アサガオの種まきなど、園児にとってはどれも初めての体験となりました。最初は緊張していた園児たちもすぐに打ち解け、高校生のお兄さんお姉さんの手ほどきを受け、上手に作業することが出来ました。年齢のかけ離れた園児たちにいかに作業方法を正確に伝えるか、普段と違ったコミュニケーション能力が試されるこの経験により、高校生も成長させてもらいました。

成長したひまわりは、園児たちに持ち帰ってもらい、お家で育ててもらう予定です。また、定植したサツマイモは秋に収穫し、園児たちと一緒に焼き芋にして食べる予定です。この園児との交流活動は今後も続き、田植え、稲刈りなどが計画されています。

園児たちが大人になっても、この交流活動が幼い頃の思い出の1つとして心に残っていてくれれば、こんなにうれしいことはないでしょう。



■林業関係団体と連携した取り組み（森林科学科）

森林科学科では、森林・林業関係団体と連携した活動を行っています。植林ボランティアや間伐実習、高性能林業機械研修、デジタルコンパス測量実習、チェーンソー・刈り払い機取り扱い実習など、将来、森林・林業関係の仕事に就職したときに即戦力となれるような知識・技術を取得する事が目的です。

山梨県は全国でも森林面積が多い県です。戦後に植栽された森林は伐期にさしかかっていますが、採算や人材の関係もあり放置されている現状があります。この貴重な森林資源を有効に活用できる人材を育て、山梨の森林の未来のための担い手となるような教育を行っています。



■ 2級土木施工管理士に挑戦（環境土木科）

環境土木科は、昨年度から2年生で2級土木施工管理試験に全員が挑戦しています。本年度も全員が受験に挑戦します。また、昨年度、残念ながら不合格だった3年生も、土木系の進路に進みたいことから自発的に受験を希望しました。再挑戦する生徒は前期で3名、後期試験で3名です。17歳以上であれば学科試験を受験ができるようになったことから2年生全員が受験し、落ちても卒業までにリベンジする姿勢が出てきました。また、昨年度は、この試験に合格したことから自信が付き、進路を土木系企業に変更し



た生徒もいます。

その他、溶接や建設機械等の資格取得についても、本年度は自発的に取り組みたいと受験を希望する生徒が増えています。卒業後の将来像が見えて、学習の目標や取り組む姿勢が意欲的になっていると感じています。

■造園技術を学んでいます（造園緑地科）

3年生は、6月28日に行われる資格取得のために日々、学習しています。今年は、クラス全員の国家試験3級造園技能検定合格を目指して、技術や技能、そして精神力や体力を実習を通して学習しています。

2年生は、総合実習で、小型建設機械の操作練習班と樹木の移植などを学ぶ植栽班、校内の庭園維持管理をしながら造園用具の取り扱い方など学ぶ管理班に分かれて実習を交えながら、専門技術を学習しています。これらの学習の積み重ねをとおり、次年度に取得する造園技能検定に対応できる技術を学習しています。

この時期、全学年がマツのミドリ摘み実習で手の指先を真っ黒にします。特に、1年生は、初めて行う整姿剪定の学習に戸惑い、個々で樹木に向き合いながら専門技術に興味を持ち始めています。庭木の手入れにはその樹木に適する剪定する時期があるのですが、丁度今頃、赤紫色に染まるツツジ類が花盛りです。この花が終わる頃には、ツツジ類の刈り込み作業を行い、来年の開花の準備のために剪定を一斉に行います。



■イチゴジャムやビスケットを製造（食品科学科）

春から初夏へと季節は移り変わり、汗ばむ日も多くなってきました。春はイチゴ、初夏は梅と季節ごとに収穫できる作物も変わっていきます。その旬にこだわり、食品製造の実習ではイチゴジャムや梅の漬け物など、食品加工に大忙しです。また、1年生は4月の入学から緊張もほぐれ、生き生きとした学校生活を送っています。初めての製造実習では楽しみにしていたビスケットの製造を行いました。毎年、収穫祭で販売する伝統の農林ビスケットです。まだ手元がおぼつかない様子も見られますが、ひとつひとつの工程を確認しながら、確実に製造方法を身に付けていきます。加工実習を通して、食品従事者としての基礎を学習しています。



■農業クラブ活動に協力を！

農業クラブ活動として、今までに4月12日の新入生オリエンテーション、4月26日の農業クラブ総会、学科別意見発表があり、6月7日、わかば支援学校との交流会、6月12日には校内意見発表会が開催されました。農業クラブ本会役員と各クラスの農業クラブ委員が協力して活動を進めています。また、タンポポによる環境調査についても多くの生徒に協力頂きました。まだ、タンポポの環境調査を継続して回収していますので多くの方の協力をお願いします。

農業クラブ独自で行っている地域交流活動も5年目を迎え、地域との関わりも深めているところです。夏を迎え、ますます活動も活発になります。農業クラブ員全員で盛り上げていきます。

